

### 「平野屋新田会所跡」の保存に関する緊急申し入れ(案)

大東市議会は、平野屋新田会所の保存について、平成19年3月定例会で「平野屋新田会所の保存を求める決議」を、平成19年12月定例会で「平野屋新田会所を破壊から守り保存を求める緊急決議」を全会一致で可決しました。

また、「歴史文化的史跡の保存と整備に関する特別委員会」では、今年5月の「歴史と文化を活かしたまちづくり提言」のなかで、なお保存への努力を求めてきました。

ところが10月6日に「平野屋新田会所跡地」の現所有者から大東市開発指導要綱に基づく「開発行為協議書」が大東市に提出され、関係課との協議に入っていると聞き、10月13日に緊急に本特別委員会協議会を開催し、この間の経過報告を受けました。

そして改めて10月20日に本特別委員会を開催し、会所跡地の宅地開発にかかる今後の対応について、「政策推進部」「街づくり部」「生涯学習部」にどう保存していくのか見解を正し、市としての明確な方向性を打ち出すことを強く要請しました。

平野屋新田会所は、会所の建物は破壊されたものの、発掘調査によって新田の開発と経営の拠点としての重要性がさらに高まり、大阪府も文化庁も重要遺跡としての認識は変わっていません。

現在、江戸時代の農業関係の国史跡は全国で4箇所しかないといわれています。それらと比べても往時の環境を最もよく残していると言われている貴重な会所跡が開発によって失われることは大きな損失です。全国から注目される文化財遺跡として、13万市民が誇りをもって「大東の歴史」を語るシンボルとしての「平野屋新田会所跡」の保存に向けて、大東市が総力をあげていただきますよう、下記とおり申し入れます。

#### 記

- 1 協定書締結までに以下のことを決定していただきたい。

教育委員会は、歴史的に貴重な「平野屋新田会所跡」を保存するため、全面保存の方策を検討するとともに、少なくとも周壕・船着場、千石蔵などの特徴的な会所の遺跡を保存すること。また、年々地域の祭の気運が盛り上がっていることから、だんじり広場の確保を視野に入れて保存にむけての青写真を確定していただきたい。

そのうえで、関係する政策推進部・街づくり部・生涯学習部と協議し、市として保存にむけた最大限の努力を行うこと。

協議内容を特別委員会に報告したうえで、協定書締結に望むこと。

### 秋晴れの下、「大東のだんじり」が市内を曳行 子ども会、青年・男女の参加が年々増えている



平野屋新田会所跡から10月18日撮影

歴史文化的史跡の保存と整備に関する特別委員会委員長の豊声議員は緊急に特別委員会協議会を開催し、「平野屋新田会所跡地」の開発行為協議書が大東市に提出された経過などの報告を受け、10月20日に本特別委員会を開催しました。

その後、左記の内容の正副委員長(案)を作成し、各委員の意見を求め、最終案としての確認ができれば各会派・議長の同意を得て、市長・教育長に申し入れを行う予定です。



座間神社前に、谷川・南新田・平野屋のだんじりが集まり泉公園で御供田のだんじりと集結。18日は末広・南郷公園や野崎商店街参道にもだんじりが集結し、古崎・豊芦・飛田議員それぞれ地域で参加しました。大東の秋祭りが地域祭りとして盛り上がっている。

# だいとう 議会報告

日本共産党  
大東市議会議員団  
大東市谷川1丁目1-1  
議員団控室直通  
TEL/FAX 871-5588

市議員  
**つとむ 勉**  
TEL.090-3864-5037

市議員  
**かつこ とよあし**  
TEL.090-1079-8939

市議員  
**しげる とびた**  
TEL.090-7099-8429

#### 法律相談

11月2日(月)7時~  
大東市民会館  
※先着順です  
871-5588まで

# 日本共産党議員団(古崎・豊芦・飛田)は 10月25日 多彩な行事・市民活動を激励

午前9時深北緑地で第22回スポーツ少年団フェスティバルが行われ、インフルで休む子が多いと主催者から報告がありました。選手代表者は元気に宣誓をし、18団体が参加しました。



深北緑地にて

していただきました。当時は、競技ができなかったのが、引き続き青年たちが交渉をする中で実現したとのこと。



大東市在住の大山さんは、波の広場が出来たとからの利用者です。「コンテストは今日で3回目です」と笑顔で答えてくださいました。

## THE JAM PARTY vol.3



住道駅前末広公園では、「ちゃおちゃお」や「おおぐま共同保育所」が中心になってフリーマーケットを展開。若い子ども連れで賑わっていました。

御供田公園では、第31回大東市少年相撲選手権大会が行われ、第30回大東市長杯争奪戦、第2回大東ライオンズクラブ杯争奪戦が行われました。ここでも、インフルの影響で休場の選手が多く不戦勝が目立ちました。学年別参加者は、小学生1年～3年がそれぞれ14人、4年生が11人、5年生が4人、6年生が1人。そのうち、男子が34人で女子が24人でした。女子の参加が多く真剣に勝負している姿はなかなか微笑ましく、頼もしく感じました。



御供田公園にて

## 地域ぐるみの子育てをめざして

# 第25回 なんこう こどもまつり



南郷小学校にて

25年の歳月の中で、スローガンどおり「地域ぐるみの子育てをめざして」実行委員会が結成されていることを感じます。飛田議員は第一回目から中心になって関わってきました。当日も、あか

## 重い障害をもつ みんなの未来を考えるつどい

東大阪市役所本庁18階会議室にて一時半から開催され、党議員団から参加しました。

最初に、保護者の方々が「わたしたちの願い」を群読されました。私たちのこどもには、生まれながらに重い障害を持つ子、お母さんのおなかの中で元気だったのに出産時のトラブルで障害を持つことになった子、健康児として生活を送っていたけれども病気で障害を持つことになった子・・・さまざまです。

療育センターでは母親としても新米だった私達に子育てとこれから直面する様々な出来事について教えてもらいました。

小学校に入学して子どもと離れる時間を与えてもらいながら、校内でいろいろな年代の保護者と子どもに出会う機会を頂、こんなにも沢山の仲間が居ることを知りほっとしました。中学部ではどのこもみんな成長という過程の中で体調の節目を迎え、母子と先生と皆でスクラムを組んで乗り越えて・・・。

そして、高等部・・・頑張って生きてきた集大成のとき、その後の行き先が無いことに気づき愕然としました。そんな日々の中、医療的ケアとの出会いは突然にやってくるのです。この子らにも仲間が必要です。豊芦議員は、昨年保護者から相談を受け、障害福祉課と懇談。昨年12月のシンポジウムにも参加し現状を知りました。医療的ケアネットワークの急速な広がりを感じます。



「継続は力なり」地域ぐるみの子育てを目標として取り組んでこれた、歴代子ども会役員・各団体の皆様が、地域の皆様や地域商店の皆様のご協力に感謝申し上げます。